

木崎に新子豚市場完成 年間二万七百頭を目標

木崎方面は、子豚の産地として、その名を県外にまで知られています。この子豚生産の中心となつてゐる木崎農協に、約一千二百

万五千元を投じた新しい子豚市場が完成しました。この市場を利用して、毎月五の日に、にぎやかなせり市が開かれています。

「一七千八百

と、一回の市で、六百頭前後の子豚が、業者に買

取られて、新市場は、せり場兼事務所一棟、子豚追い込み場二棟からなる衛生的な建物です。この市場の完成によって、



(写真上は市場のせり風景。下は汽車のような車に乗せられてせり場へ運ばれる子豚)

木崎の子豚は、県外にさらに広く取り引きされて行くものと期待されています。

早通団地に共同店舗

十二月十二日、早通団地の駅前、りっぱな共同店舗が開店しました。

店舗は、鉄筋コンクリート造り二階建てで、延べ面積約八百平方メートルです。

ここには、市内の十五業者が出店し、食品や日用品は、一応ここで買うことができます。このため、商店が少なくて困っていた団地の人たちはたいそう便利になって、喜んでいきます。

また、団地には、街灯が少なく、防犯上から心配されていましたが、これを知った東北電力が、街灯二十二灯を寄付しました。団地の人たちはこれを基礎にして、みんなで協力し、さらに増灯したため団地の夜は、にわかにも明るくなりました。(写真は共同店舗)



困っている人にと 名も告げずに13万円

敬意を表し、心から感謝申し上げます。

昭和四十六年十二月十三日
豊栄市長 石井耕一

市役所の窓口にこのような感謝状が飾られています

感謝状 匿名氏殿

あなたは、本日この窓口へ市長あて封書を託し、名もつげずに立ち去られました。中には「困っている人にあげてください」と添書し、金拾参万円がはいっていました。不況のうちに迎えた歳末にあたり不遇な人たちによせるあなたの温い思いやりに感謝申し上げます。心から感謝申し上げます。

この篤志の人は、名も告げずに帰ったため、ただ六十歳から七十歳くらいの男性と知るだけです。

市長は、この人にお会いしてぜひお礼を申し上げたいと、手をつくしましたが、どのどなたか、知る手だてがありません。そこで、このことを、市民の皆さんからも知

っていたらどうかと、市長の発案で、感謝状を飾ってほしいです。

市では、このご厚意を、年末を迎えて困っている人たちのために、有効に使わせていただくようと、いろいろ相談をしています。

自衛官募集中

十八歳以上で、意力的な人を求めています。新しい知識や技能が修得でき、試験によって昇進の道もあります。

身分は、国家公務員特別職で、衣食住や医療は無料、給与は、月五万円(実質)以上です。

毎月、入隊の受け付けをしていますので、詳細は市役所総務課へご照会ください。



「もっとよい広報を」と思うのが、いつもの年末です。ことしは、初の試みとして写真入りの「市政だより」をお届けしました。皆さんに親しまれる広報の編集に努力します。来年もよろしくお願ひします。